

電友会全国連合会報

第 75 号

3. 7

目次

武田電友会会長あいさつ	二
私は今	三
電友会総会終わる	四
春の叙勲(藤田正男さん)	五
NTTOB軟庭大会(松山)	五
余米	五
敬 弔	五
NTT情報	六
四国支社長人事	六
コンビニエンスストアでも電話料金支払い可能	六
郵政大臣を迎え電話ファクスを贈呈	六
テルウェルだより	八
川 柳	九
表紙の言葉	九
随筆	九

穴吹義教 須賀田初子

浜口徳幸 原 淳



NTT幹部と電友会幹部 との合同会議における 武田電友会会長の挨拶要旨

さる三月十二日、NTT本社に於て、NTT側から山口会長、児島社長、木塚総務部長を始め、全支社の総務部長が出席され、電友会側からは武田会長のほか、全副会長、常任理事、理事等が出席のうえ、標記の合同会議が開かれました。

席上、児島社長から近況報告と、NTTに対する電友会の協力を謝意を含めたご挨拶があり、つづいて武田会長から要旨次のような挨拶がありましたので、ご紹介します。

「本日はNTT側は山口会長、児島社長を始め全国支社総務部長にご出席いただき、電友会側は副会長、地方本部長、事務局長などが加わり、OB会が始まって以来、初めてのOB、現役の会合をセットしていただき、誠に画期的なことと感謝しております。

先程、社長から忌憚のない電友会へのお話をいただきました。われわれはあらゆる機会を通じてザックバラに話し合い、気脈を通じて協力し合っていくことが大切であると考えております。

電友会の活動の支援については、先程総務部長からお話がありました。本日は支社の総務部長も出席されておりますので、電友会発足の経緯などについて申し上げたいと存じます。

一昨々年でしたか、当時は電友会ではなく、電退連（日本電信電話退職者団体連合会）で

ありましたが、その総会の際、電退連も今迄のように年金や税制などの改善という消極的活動ではなく、もっと積極的な活動を行うべきではないかとのご提案があり、全員が賛成されまして、組織の改革に取り組むことになったのでありますが、その提案の理由は四つありました。

その一つは、OB自身退職してから二十年以上し三十年の人生があり、余生といっておれない、これからが真の人生の始まりともいってよい。この退職後の人生を真に生き甲斐のある、心豊かな有意義なものにしたい。

第二は、われわれ会員も七万名を超える社会的存在である。退職後といえども社会に貢献する団体として、発言力のある社会活動をしていきたい。

第三は、NTTに対する支援協力であり、す。当時はOBに対していろいろ批判もありましたが、われわれOBは電気通信を一生のライフワークとして選び、一生懸命やってきたが、退職後においても七万名の会員が一致団結してNTTに協力したいという気持ちであります。それを何とか実現したい。

第四は、OBと現役の関係を良くしたいということとあります。電気通信の一駒（こま）を担ってきたことにおいては同じであり、現役、OBといっても時期が異なるだけで、言ってみれば運命共同体といふべきものであります。現役とOBは気脈を通じ一体感、連帯感を持ち続けていきたいということとあります。

以上の四つの願いのもとに、一昨年の秋に当時のNTT山口社長、児島副社長と日比谷

同友会の正副会長とが会談し、今後のOBのあり方、その活性化、現役とOBとの関係などについて話し合いが持たれました。

その結果、OBの生き甲斐の施策、NTTへの支援協力活動を活発にし、会の活性化を図ることとなり、従来の連合体を改組し、地方の旧友会や同友会は電友会の地方本部という全国単一組織体として、平成二年四月一日に発足することとなりました。

そして電友会発足後約十か月たった今年の一月に、木塚総務部長も出席され、電友会活性化のための諸問題について全国事務局長会議を開きました。結果、「NTTと電友会に横たわる諸問題について討議し、両者の意識統一をキチットはかる必要がある」との結論を得て、本日の合同会議となった次第であります。

先程述べましたように、本日の会議は歴史的にも誠に意義深いものだと思います。OB全体では十一万四千人居ます。旧組合員であるうと、旧管理者であろうとOBには変わりがないので、すべて電友会の会員になって貰いたい。そして電友会員とNTT現役二六万名が一体となれば、電気通信の発展のために何でもできると確信いたします。

これまでの経過とお願いを申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。」



私は今



○ 阿部 寛 (松山)

OBの皆さん、ご無沙汰しています。私も、知らぬ間に満七〇才を越えました。今は地区広報委員会の会長を始め、地域のもろもろの役員を仰せつかり、及ばずながら地域に奉仕させてもらっています。

平常は近所の仲間とクローケーや囲碁を楽しみ、また時にはOB仲間と麻雀にうつつを抜かし、妻や息子から意見されることもあります。

それでも精神年齢は四〇才位のつもりで、お陰様で毎日退屈もせずに過ごし、どこかよい口があれば、再就職したい位の気持です。

○ 山本 一雄 (松山)

第二の職場も辞して十年余、毎日が日曜日のきょうこの頃。

生来の無精者で、無趣味。なすこともなくまことに平々凡々。

気の向いた時、庭木の手入れや消毒、草引きなどをします。近所の人から松の剪定の仕方を教えてもらったのでやってみるが、なかなか思うようにはできない。

最近では体力・気力の衰えが目に見えて感じられるようになった。気候がよくなつたのでウォーキングを始めようかと思っているが？

○ 川上 節尋 (大洲)

昭和五十五年五月に退職して十年目に入り、

過ぎし日を思い浮かべながら、ミカン・キウイフルーツの栽培？とまではいきませんが、それでも計二・五トンほど生産しています。

園に立ち、展望すれば、歌の文句じゃないけれど、金波銀波の伊予灘に浮かぶ青島の光景は、何とも言い難く、また冬ともなり、天候のよい日は、脇川特有の嵐が望めます。

作業の合間に、海を眺めたり、カラオケを口ずさんだり、長生きの足しになるようです。

○ 西本 明 (宇和島)

退職後請負った電報配達受託業務を六年余り勤めて交替、これからが本当の退職と、余暇を楽しんでおります。

幸い健康に恵まれ、無事に受託業務を終えたことを感謝し、お礼参りのつもりで四国霊場の巡拝を行い、仕事にかまけて手入れの届かなかった裏山の段畑を、自家菜園に活用しようと、草刈りに励んでいます。

またビデオ仲間の撮影会や旅行会にも参加し、同好者との親睦を深めています。

○ 長野 啓 (今治)

十年前に公社を退いて今治に帰り、市公営の駐車場に入り、今年一月退職しました。

地区老人クラブ会長を始め、地区公報委員等、あれこれと仕事を引受け、お世話をさせてもらっています。

老人会では昼間ゲートボール、若い方はナイターでクローケー、卓球、その他、頭の体操？とかで大いに参加しています。

農家の休耕田を百坪程借りて野菜作りもしています。朝夕の見回りが楽しみです。

これからは、四国八十八ヶ所巡りもしようと考えているきょうこの頃です。

○ 野込 好 (高松)

十年一昔というが、過ぎ去るは早く、妻逝きて早七年、永久単身赴任のきままな生活をしている。

毎日が日曜日になって五年、月一のゴルフも、スコアは別として皆勤。研究心不足の釣りは、ボウズが多いが日光浴を……

自己流の菊作りは不連続だが、時間ツブシとストレス解消に結構楽しんでる。

幸い二十年来医者知らず、ペースを乱さないよう、日々を健康第一と心がけている。

○ 三宅 登 (坂出)

退職して八年、ありがたいことに書道が続け、自分も楽しみ、また人にも役立つことができ、誠に幸せです。

筆を持つてば一途に集中でき、時間の経つのも忘れ、熱中してしまいます。

書くことは体力を要するもので、最近歩くことを多く取り入れ、一日八千歩から一万歩を目標に、町内・裏山・川の堤と、毎日行く先に変化をもたせて健康に留意しています。在職中の友と出逢うと、若き日のことがなつかしく思い出されます。

○ 鹿庭 俊博 (善通寺)

現住地で十年、何の変哲もない所だと思っていたが、三年前には広大な農地が四国横断道の「善通寺IC」に取って変わり、さらに二年後の東四国国体では、バレーボール会場

となる市民体育館が、県特有の溜池を埋め立て、造成して建設された。見直せば、町内も相当に様変わりしたものである。

退職後、個人医院の事務長として、多少毛色の匂った経験もしたが、現在は気心の知れたグループで、週一のゴルフを楽しみながら健康維持につとめているきょうこの頃である。

○ 東條 栄一 (徳島)

一時体調をくずし、ダメかと思われたが、何とかNTT徳島体育館の勤めも無事終った。今は気軽にクラブを握り、ゴルフを楽しんでいるが、下手の横好きで、これも病気のうちかもしれない。

家内と全国のNTT保養所巡りを計画し、保養所毎の味や温泉で旅を楽しんでおり、七月には宇奈月から諏訪へ行くことにしている。思えばこれも皆様のお陰で、特にお世話いただいた方に、言い尽くせぬ感謝の心で合掌している、退職十年目のきょうこの頃です。

○ 近沢 美義 (高知)

このほど四国電話工業を引退、約半世紀にわたる優勝劣敗の世界におさらばしたが、感ひとしおお出合いに恵まれて幸せでした。

第四の人生は、緑化推進(県委託)、あつたか高知(観光ガイド)、美しい横浪を守る会、シーサイド愛護会、小さな親切運動(ボランティアNTTTOB会)、一日一善(ロータリー)等々のほか、釣り、麻雀、囲碁など(酒は避けて?)「和楽遊」をモットーに、自他共々のサービスマイフに専念しています。親しくしていただいた皆様、一層お元気で、

○ 吉村きみ子 (高知)

民生児童委員をお引受けして四年目になりますが、年毎に身寄りの無い高齢者が増加し、安否の訪問や相談事も多くなりました。

つい最近、寝ついてしまった方ができ、市の保健婦さん入院の手配をしてもらったところ、五日位かかりました。その間食事などのお世話もしましたが、いつでも受入れのできる施設の充実を切に望んでいる次第です。

趣味の方は週三日出かけ、仲間と楽しく過ごしておりますが、これからも、福祉活動と趣味を生甲斐に過ごしたいと考えております。

○ 溝口 徹 (土佐山田)

早いもので、退職して七年になりました。歩くことは健康の基本であり、老化防止にもつながると考え、毎日欠かさず朝夕五キロ歩くことを実行しており、知人に「毎日々々、同じ道を、しかも雨の日も、よく歩くねや」とヒヤかされますが、孫の成長を楽しみに、まだまだ元気に過ごしたいと思っております。

土佐山田町は、打刃物の町として全国的に有名で、また野中兼山でもよく知られる、緑豊かな町です。ご一報下さればご案内申し上げます。お元気で。

○ 都築 義彦 (嶺北)

退職後五年が過ぎようとしています。お陰で静かな田舎の生活を元気に過ごしておりますが、全国で最も高齢化が進んでいるここ大豊では、まだまだ若者扱いです。

少しばかりの茶園と特産の柚子を栽培し、

余暇は花作りと地域の会合や行事に参加しています。

年内供用予定の大豊川之江間の高速道路、家族旅行村の着工、すでにオープンしている山荘梶ヶ森を拠点とした山岳観光など、目下地域の振興と発展に大きな夢を托しています。



電友会総会終わる

会則改正により、愛媛・徳島両県支部が秋から春に変更されたため、今年は五月十日の連合会総会を皮切りに、徳島(同十七日)、愛媛(同二十二日)、香川(同二十四日)、高知(六月三日)の順で一斉に開催されました。

NTT四国支社長ないしは関係支店長、共済会四国支部長などのご来賓を迎え、それぞれ盛大に挙行されるとともに、総会終了後は、懇親会で旧交をあたためるなど、年に一度の総会にふさわしく、楽しく和やかなひと時を過ごしました。

特に愛媛電友会では、初のこころみとして、会員の余技作品展(共済会協賛)のほか、懇親会ではアトラクションとして、同じく会員による演芸が行われ、謡、詩吟、日舞、民踊など、玄人顔負けの名演技に陶酔、限らない拍手と「よかった」、「来年もやってほしい」等々、多大の好評を博しました。(高市記)

春の叙勲

平成三年春の叙勲に際し、多年にわたり電気通信事業に貢献されたご功績により、松山市の藤田正男様が叙勲の栄に浴されました。

まことにおめでとうございました。

勲六等瑞宝章

藤田正男様



NTT OB軟庭クラブ

—平成三年度春季大会開催—

(松山)

去る五月二十五日(土)、翠薫る堀之内市営コートにおいて、当クラブの本年度春季大会が開催されました。

メンバーの日頃の精進の賜物でしょうか、心配された雨も何処かへ吹っ飛んでしまい、ギラギラの夏空の下、和やかななかにも、熱戦が展開されました。

とくに、今年喜寿を迎えられた木村、溝田両ベテランの、若手(といっても、皆それなりの年齢ですが...)に劣らぬ活躍ぶりには、ギャラーリから大きな拍手が寄せられていました。

大会終了後、例によって、反省、懇親会を開催(「こちらが本番」という人もいました

余 栄 (死亡順)

従六位勲五等瑞宝章

故 林 芳次郎様

(松山)

従六位勲五等旭日章

故 大野 正義様

(松山)

正七位勲六等瑞宝章

故 楠瀬 保喜様

(高知)

正七位勲五等瑞宝章

故 今西 重信様

(高知)

正七位勲六等瑞宝章

故 小橋 岩亀様

(脇町)

正五位

故 土橋 晴義様

(徳島)

正七位勲五等瑞宝章

故 山口 初樹

(高知)

同

故 山脇 新一様

(松山)

勲六等瑞宝章

故 柳池 利己様

(松山)

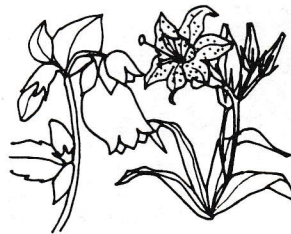
が)、お互いの健闘を讃えあったことでした。(玉木記)

当日の成績は次のとおりです。

- 優勝 三好(章)、溝田組
- 準優勝 三好(純)、田内組
- 三位 藤野、木村(内藤)組
- 四位 桧垣、西岡組
- 五位 山崎、岡本組
- 六位 水野、玉木(木村)組

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



氏名	死亡年月日	享年	所属
浜田邦寿様	3.2.11	八一	北条
井上忠雄様	3.3.1	八三	松山
宮内豊様	3.3.6	五四	〃
谷添利馬様	3.3.21	七四	須崎
山口初樹様	3.3.29	八二	高知
山脇新一様	3.4.3	八二	松山
柳池利己様	3.4.8	七八	〃
浜谷勝次様	3.4.24	八三	高松
松本萬歳様	3.4.27	八〇	大洲
片桐峰子様	3.5.6	七一	高松
藤原英美様	3.5.20	八九	徳島
浜田亀猪様	3.5.27	八六	佐川
菅俊夫様	3.6.4	七三	松山
山本繁子様	3.6.13	六二	高松
野崎三郎様	3.6.14	八三	〃
原好男様	3.6.16	八〇	小松島
須磨谷久義様	3.6.23	八六	高松

NTT情報

四国支社長人事

さる六月二十七日付で、次のとおり発令されました。

取締役 四国支社長 千葉正人まさひと

(理事・企業通信システム事業本部副事業本部長)

取締役

高度通信サービス事業本部副事業本部長 (移動体通信自立化準備室次長兼務)

佐田啓助 (取締役・四国支社長)

さらに電話料金の支払いが便利に「コンビニエンスストアでも」

7月から、四国内95店舗で

NTT四国では、七月から四国内のコンビニエンスストア(ローソン、ヤマザキデイリーストア)九五店舗でも電話料金の支払いができるようになります。

現在、電話料金については、金融機関・郵便局・NTTお客様窓口において、お支払いいただいておりますが、お客さまの生活時間帯の多様化及び金融機関等の土曜日休業に伴い、電話料金支払い時間の延長、窓口の拡大等の要望がお客さまから寄せられています。今回のコンビニエンスストアでの電話料金の収納は、これらの要望にお応えして実施するもので、POSシステムを導入している全国規模の大手コンビニエンスストアに電話料

金の収納を委託することとしたものです。一、取り扱っているコンビニエンスストア

ストア名	会社名	店舗数	愛媛	香川	徳島	高知	合 計
ヤマザキデイリーストア	四国三洋	22	8	—	—	—	29
ローソン	ローソン	73	21	14	—	—	53
			39	—	—	—	13
			—	—	—	—	—

二、取扱い請求書 電話料金請求書のうち、バーコード記載され、かつ支払期限内のものについて取り扱います。

郵政大臣をお迎えし、「愛媛慈恵会」へ電話ファックスを贈呈！子供達とのソフトボール親善試合や野球教室も実施

NTT 四国では、電話百年記念施策として、昨年末より社会福祉施設に対し、福祉電話機等の贈呈を行って来ました。四国内の贈呈対象四〇



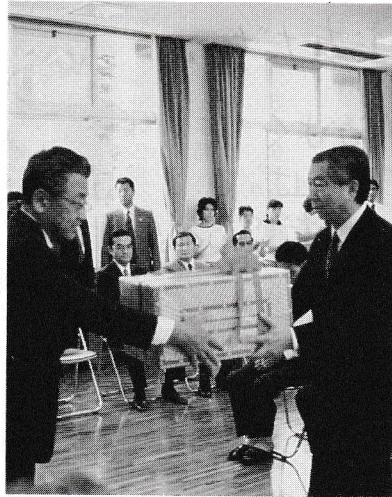
六施設の最後として、六月十六日(日曜、父の日)松山支店と協力し、松山市内の社会福祉法人「愛媛慈恵会」に電話ファックスを贈呈しました。



当日は、関谷勝嗣郵政大臣から「FAXはいろいろな使い方があるので皆さんも勉強して下さい」との挨拶のあと、佐田啓助NTT四国支社長から電話ファックスを贈呈、引き続き有田紀史雄NTT松山支店長が、子供さん達に実際にファックスに触れていただく「ふれあいファックス教室」を実施、そのあと、ブランドでソフトボールの親善試合や野球教室を行い、子供達との交流を深めました。

「ふれあいファックス教室」では、ファクシミリ通信網サービスに登録したNTTのCMキャラクターや有名スポーツ選手からのメッセージを実際にファックスを操作して取り出しました。

つづいてのソフトボール親善試合は、関谷勝嗣郵政大臣の始球式により開始、白熱した



試合展開の結果、六対六の引き分けとなりました。
 最後は、N T T 四国オレンジエースフォーラム野球部会のメンバーにより、野球教室を実施、盛り沢山のイベントに、子供さん達や先生方から大変好評のうちに終了しました。

青
福
田

愛媛慈善会
丸

青
福
田



SEIBU
Lions



青
福
田

よい子のお友だちへ

みんななかよく
元気でがんばって
楽しんでくださいネ!



テルウェルだより

支部・各営業所に
「福祉の相談窓口」電話を設置

テルウェルでは、本年度重点的に取り組む施策の一つとして「公益事業の県単位運営」という旗印を掲げ、特に今後ますます増加するNTTOBの皆様のお傍にあつて、より身近かな社会福祉事業をするため、さる四月一日に、各営業所にケースワーカーを配置したところですが、更に皆様のご相談をストレートにお受けする「福祉の相談窓口」電話を、次のおり設置し、各ケースワーカーが応対に当たることとしましたので、何かご相談ごとがありましたら、お気軽にお電話ください。

- 愛媛県下 (ケースワーカー)
支部福祉センター 吉本 征児
 - 香川県下
香川営業所 中山 忠彦
 - 徳島県下
徳島営業所 児島 貞雄
 - 高知県下
高知営業所 梶田 留喜
 - ・電話 (〇八八八) 八五二九四一
 - ・電話 (〇八八六) 五二一八四三三
- NTTOBサロン「かつやま」の
「テルウェルデー」をご存知ですか
現在、「かつやま」は、NTT職域OBの

サークル活動の場として、又囲碁・将棋の同好の方々に利用され、好評をいただいておりますが、更にフリーな憩いの場として一人でも多くの方の利用をいただくため、七月から毎月一定日(第二木曜日)を「テルウェルデー」と定め、当日、色々な催しを計画し実施することとしています。

七月・八月・九月の催しを、次のとおり計画していますので、ご期待のうえ、多数の到来をお待ちしております。

- 七月十一日(木曜日)終日適宜
・ビデオデー
囲碁講座・映画を放映します。
- 八月八日(木曜日) 終日
・クイズデー

当日、簡単なクイズを掲示しますので、多数ご応募ください。
正解者の中から、抽選で十名の方に粗品を差し上げます。

○九月十二日(木曜日)午後二時間程度
・対話デー
福祉の行政機関の責任者との対話を
行います。

今年度も「家庭介護教室」を開催

本格的な高齢化社会を迎え、ねたきり老人の介護は、家庭にとって大変重要な課題となっています。

NTT職域の現職者・OBの方々の世帯でも、ねたきりなどで介護を要する老人をかかえてご苦労されている方や、将来ボランティア活動をするために介護知識を身につけたいという希望をお持ちの方がおられると思いま

すが、テルウエルでは、これらの方々のために昨年度、松山・高松・徳島・高知の各市で日赤各県支部等のご協力を得て「家庭介護者教室」を開催したところ、大変ご好評をいただきました。

本年度も、引き続き各市での開催を計画しており、日程等詳しいことは別途お知らせしますが、ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

「家庭介護者教室」プログラム（予定）

- ・老人のからだどころ
- ・老人看護と心づかい
- ・床ずれの予防と手当
- ・排せつの世話
- ・からだの清潔保持
- ・看護づかれを防ぐために

川柳

佐々木 光（枚方）

びっくりを二人で分ける立ち話
銘柄はどうでもビール欲しい汗
元氣だがぼっくり寺へも行っておく
カセットのお経にリードされて盆
お中元の義理は素早い妻まかせ

森 安 文 子（高松）

青春のうぬべれ残す古写真
親の影吸うだけ吸った鯉のぼり
恥ずかしさ捨て変心の六十路坂
荷くずれの野菜母の字知って着く
母とあう布団しゃべって朝となり

表紙の言葉

川柳画

莊 野 丹 秀（内海）

今回は、川柳画を発表させていただきま
す。俳画とは別で、川柳の説明に簡単な絵を描く方法です。

表紙絵は、岡山の「夢二の里」を訪ねて描いた川柳画です。

○ ロマン咲く夢二の里の月見草

（注）これは莊野さんが、産経川柳に寄せた一句ですが、選者の片松浩三氏は次のように評しています。「バスツアーで数年前、私も夢二の生家などのある夢二の里を訪れたことがある。ゆっくりロマンに浸りたい気持ちもあったが、時間の制限もあり、心を残して帰途についた、そんな思い出がある。この句の月見草はマツヨイグサ（黄色い花）のような気がする。ちなみに、植物学上の月見草は四枚の花弁で色は真っ白である。」

随筆

春の叙勲受章を慶ぶ

穴 吹 義 教（松山）



春の叙勲者が四月二十九日の朝刊に掲載されたが、その中に藤田正男さんの名前が出ていた。めでたいことだ。懐かしくもある。藤田さんとの出合いは、昭和三十年代の自動改式華やかな頃、電話運用の服務線表のパターン化を志向した勉強会の席上だった。道

後駅前にある旅館で雑話作業をやったが、線表作りのベテランながら、終始熱心に正座しておられた姿に頭の下がる思いがした。

今回の叙勲は、四十有余年にわたる運用、営業畑での仕事の功労が認められたもの。特に大洲・八幡浜の電話自動改式、さらに松山のT.T.O.S導入等、藤田さんには忘れられない苦労があったようだ。

八幡浜には、二回勤務されたが、二度目に私と同じ釜の飯を食うこととなった。料金課長として、お客の苦情を一手に捌き、抜群の手腕を発揮したが、その支えとなったものが神への祈りだった。お客の怒りを静めるのに信心を以て臨まれた結果、叱言が苦情とならず、臨局の本社監査の担当がその件教の少なさを不審に思ったほどだった。

毎夜就寝前には、必ず神への感謝の祈りを忘れない生活習慣が身についていた。

「ありがとうございます。明日も無事でありますように！」

藤田さんは「電電四国」の創刊号からの全冊子を丹念に保存されておられるし、自分の毎日の生活史を大切にされている。全く敬服の至りで、それだけに二十年後の今日でも当時の記憶は鮮明である。

若い頃から短歌・俳句をたしなまれており、短歌入りの賀状とか短冊など贈られたものを記念に保存している知友が、数多い。

「真面目」を生活信条とし、努力一筋の道を歩んでこられた方だけに、今回の受章はまことにふさわしいものと、心より祝福申し上げます。いつまでもあの人懐っこい笑顔で、元気に過ごされますようお祈りする。

クルド難民に思う

須賀田 初子(松山)

湾岸戦争の終決が報じられるいなや、クルド難民の悲惨な流浪生活が放映され始めた。思えば四十五年前の敗戦後、私は一年半にわたり、旧満州の果てなき荒野で、難民生活を強いられた一人であった。

食糧、湯水、電気、燃料など何一つ無く、どこへともなく流れて行く、疲れ果てたクルド難民の後ろ姿は、かつての日本人難民そのままであり、思わず涙が出た。

特に、赤ん坊をひっしと抱きしめた母親が、息絶えてゆく我が子をじいっと見つめながら、滂沱と涙する場面が映し出された時、私は昔の我が姿をそこに見て、溢るる涙を禁じ得なかった。

この母親と、かつての私が流した涙には、同じ思いがあった筈である。折角この世に生まれながら、親らしいことは何一つしてやれず、死を待つのみという悲痛な嘆きは、経験した者でなければ分からない。

ただ、クルド難民との違いは、私には帰る祖国があり、帰りを待ってくれる姑や実母がいたことである。

引揚げ後は、姑と実母にだけ一部始終を語ったが、他人には何一つ話したことはなかった、だが、このクルド難民の放映で、私の難民時代のほんの一部を語ることとなった次第である。

世相の変遷を嘆く

浜 口 徳 幸(松山)

生をうけて八十有余年、貧農ながらも日本生まれの日本育ち、幼にして忠孝の教えを学び、義理と人情そして善悪の道理に導かれ、身の浮き沈みはありましたが、それでも忠実な国民の一員だったと自負して、大正・昭和と長い年月の人生航路を味わい、今静かに余生を送る老僕となりました。しかしながら、世相の変遷があまりにも激しく、驚くより何んとも恐ろしい時代になったような気がして不安すら感ずる今日この頃です。

屈辱の敗戦が時代を替えたのは当然とも言えますが、ドレイ化されるであろうと懸念された日本国が、新憲法の下で生まれ替ったのですから……そして権利や自由など個人優先からの民主化の時代が進みました。それは良いことと思いますが、最近押しつけは嫌だ、自由だ、勝手だなどと、民主主義の先走りか、何ごとにも事を難しくしているように思えます。

敗戦から生き残れた日本国民は、日本が数千年の歴史ある国、万世一系の天皇制だったことが救いであったことを忘れてはいけないうと思えます。新憲法でも天皇は日本国の象徴とされており、これは世界の国々も認めているのですから……そして厳然たる法治国下であり、国民としての義務もあれば、それぞれの法則や規定もあって、国民は当然守るべきものは守ることであり、いくら言論の自由だと言っても故なき誹謗は許されないと思っています。ところが国民の中には、天皇は不要であり、天皇制があつては真の民主化ができない、天皇なる人物は昔話の人でよいとか、現代にそわない国旗や国歌を新しく替えたらどうか

などと、日本伝統の律義な人情と道義などの美風を忘却した発言があるのは、いささか啞然としたり腹だたしくも思っています。

私のような明治生まれの昔人間で、貧に甘んじ、そして律義な宮仕えをした者と、個人主体の現代っ子の間には生活のうえにも物事の考え方などにも大きくずれのあることは仕方がありませんが、日本人であれば今少し祖国を愛する心と、今や世界の経済大国となり、平和と安泰である日本国に感謝するぐらいの考慮と分別は持つてもらいたいと思うのです。

余談となりますが、私は最近愛媛新聞の「門」欄に愚文を投稿したりしていますが、天皇制の批判や国旗などの掲揚に関する掲載記事に反論を投稿して私のうっ憤ばらしをしています。

食べ物と風土

原 淳(松山)

◇ そば
東はそば、西はうどんと言われるが、大雑把にいうと、概ねフォッサマグナ(新潟県、糸魚川から姫川沿いに南下し、安曇野、松本平、諏訪平、甲府盆地、富士川から大平洋に至る線)で分かれているように思う。

東は、生そばと看板にあつて、うどんも売

り、西はうどん屋でそばも出す。

今まで、そばでうまいと思つたのは、新潟県小千谷のへぎそばと信州小諸であつた。

へぎそばを食べたのは二十年程前の四月初め、春の気配の濃い雪解けの頃、小さな谷川に沿った坂道の途中にある店であつた。へぎとは浅いもろぶたのような長方形の容

れ物の底に簀の子を敷いた上に、二口ばかりの盛りそばを二・三十位、並べたもの。

「こんなに食べられるか」と思ったが、葉味が海苔、ゴマ、わさび、白ねぎなどいろいろあって、そば猪口に入れて、同席者と酒を差しつさされつしながらすすってゆくと、いつの間にかへぎが空になっていたのは驚いた。

長岡市から一時間近く車を揺られて、山合の路上に残る雪を見て、さわやかな雪國特有の空気の中だったので余計にうまく感ぜられたものらしい。

二、三年前、ふと思い立って信州小諸城趾の懐古園を訪ね、藤村の遺品を見たり、小山敬三の美術館（小じんまりした建物で、千曲川を直下に見る、対岸の彼方には浅間山がどっしりと坐っていた）を巡ったりした後、小諸駅前タクシィ会社で待機中の運転手について、うまいそば屋を聞いたところ、駅前からゆるい坂道を百米ほど入って左折、五十米位の所に小さなそば屋があった。店は薄暗く、土間の中央に大きな高いいろりがしつらえてあり、その周りに椅子で食べるようになっていた。そばの前に一寸一杯と地酒を貰い、何か適当なつき出しをとった。本来信州はすっきりした呑み口の酒が多いが、茸類の合え物らしい付き出しが滅法酒に合って、その後出されたかけそばが又、言いようもない喉のすべりで、あつという間に腹に収ってしまった。おそろく水の良さと、茹でたてであったためらしい。松山に住むようになって何年か経ってから松山でそばのチェーン店を出している店の一つでござる。そばを食べた時、何か異和感を感じたので、物好きにも社長宛に苦情とも意見と

もつかない手紙を出した。その要点は、
一、茹で上げたそばの水洗いが不十分。茹でたそばにぬめりが残る。

二、つゆのたれにかすかに渋みが残る、甘みが強すぎる（砂糖が多すぎるか？甘みは味醂で出すべき）おそらく鰹節かだし・じやこが古かったのでは？

三、葉味のねぎは白ねぎのうすい輪切りを一寸水に晒したものであってほしい。青ねぎはどうどんに合うが、そばにはどうか。そばはシャリシャリした白ねぎでピリッとさせるのがよい。

これに対して社長から丁寧な返事を戴いた。コスト上困難というものや、鰹節などの製造会社に注意することなどもあったが、松山の消費者の味覚のいい加減さに甘えていた所があったかも知れない。

食べ物屋はやたらにチェーン展開したり、店を拡張したりすると味が落ちるようで、頑固な主人が目を光らせている家族経営の方が味がしっかりしていて変わらないうように思う。長野の善光寺の門前で昔から有名だったそば屋でも、しばらく経って行ってみると、味その他、客あしらいが様変わりしているのにつかりしたことがある。

ほかに、そば屋では北海道釧路の、大きな構えの、まるで料理屋みたいな店や、麻布十番の「宮坂更科」などの「御前そば」という真白なそばがあるが、値段ばかり高く、さしてうまいとは思わない。

そばは本来、ざっかけない食べ物である。

◇ のれそれ

高知の飲み屋で五、六月頃出される付出しに「のれそれ」の三杯酢がある。

「のれそれ」とは誠に珍妙な名前だが、語源は知らない。姿は長さ五、六cm、巾五mmぐらいの扁平で、白色透明。体の一方の端近くに、よく見なければ分からないような眼がポツンと付いている。のれそれは鰻とか大刀魚の子供だと信ずる人があるが、高知大学教授だった落合明氏の「土佐の魚たち」によると真穴子の変態中の子供だそう。

のれそれ自体は殆んど味がなく、その舌ざわりと喉越しが極めて滑らかで、淡麗な土佐の地酒に実によく合う。

食膳に乗るのはホンの短い期間である。

これの砂糖漬けを鮎の餌にすると、非常に釣果が上がると聞いたが、試したことはない。

投稿規程

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 八月二〇日
- ・字数はなるべくお守りください。
- ・原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国連合会会報 第七五号

平成三年七月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四十三(二十七九〇)

NTT四国支社内

電話(〇八九九)三六一(〇二三)

印刷 四国電話印刷株式会社



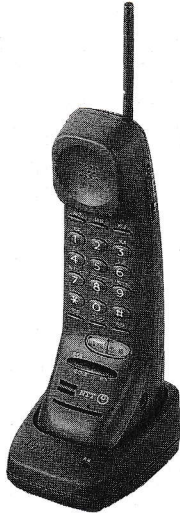
『留守番コードレスは、

かしのくぐり、

』ジョーギキです。』

コードレス機能

- 主電話機から半径100m(見通し距離)なら、どこでも使える便利な小電力タイプ。
- あなたのプライバシーをしっかり守る、スクランブル機能。(盗聴防止)



留守番機能

- 2種類のメッセージを内蔵。オリジナルメッセージを2種類吹き込んで、使い分けることも可能。
- 用件メッセージが録音された曜日・時刻を音声でお知らせ。

その他の機能

- 外出先からでも、コードレス子機からでも、暗証番号によるリモコン操作で留守番機能进行操作できます。
- テープ走行や応答メッセージ録音の残り時間がひと目でわかるイルミネーションガイド装備。

ハウディ・コードレスホン

CP-R20

コードレス留守番電話

販売価格 67,000円(消費税別)

カラーは2色、ミスティホワイト、ミスティグレー
便利な分割支払いもあります!!

お申し込みは、お近くのNTT支店・営業所へ。

